

【別紙様式 3】

再評価実施事業調書

番号	6	事業名	国道道路改築事業		路線又は箇所名等		国道 465 号 筒森バイパス		
事業所管課		道路整備課		事業主体		千葉県			
事業化年度	昭和 54 年度	用地着手年度	昭和 54 年度	工事着手年度 工事終了(認可)年度	昭和 54 年度 平成 30 年度	再評価の理由	⑥		
費用便益比 B/C	1.5	総費用	56 億円	総便益	84 億円	基準年	平成 20 年度	供用開始 年度	平成 30 年度

【事業概要】

国道 465 号は、茂原市から富津市に至る総延長約 118km の一般国道であり、起点の茂原市から国道 128 号を重用し、いすみ市から大多喜町、君津市を経て富津市の国道 16 号まで、南房総地域を横断する重要な幹線道路である。

筒森バイパスは、国道 465 号現道の豪雨災害の多い区間に計画され、地域住民の安全・安心な日常生活の確保や、観光振興等への寄与を目的として整備する延長 3.7km (2 車線) の道路であり、全体事業費は約 77 億円を見込んでいます。

現在、起点側 1.0km と中間部 0.3km の 2 区間 1.3km を供用している。

【事業の進捗状況】

	全体	未供用区間		
		区間小計	投資済	残
延長 (km)	3.7	2.4	—	—
事業費 (億円)	77.4	57.9	11.3 [19.4%]	46.6
うち用地補償費 (億円)	2.8	0.9	0.8 [90.1%]	0.1

※ [ ] 内は進捗率を示す

【社会経済情勢等】

- ・ 国道 465 号は、緊急輸送道路 (1 次路線) に指定されている。
- ・ 筒森バイパスは、事業効果の早期発現を図るため全体を 4 工区に分割し、順次供用を図りながら整備を進めており、これまでに 2 工区を供用している。
- ・ 用地取得にあたり、共有地の交渉に時間を要しており、事業期間が長期化している。
- ・ 国道 465 号筒森バイパス計画区間における現道の状況
  - ① 大多喜町伊保田地先の日交通量 (H17 センサ: 平日) は、2,722 台/日となっている。
  - ② 大部分が未改良区間で、急カーブ、急勾配、幅員狭小区間が連続し、すれ違い困難となっている。
  - ③ 異常気象時通行規制区間に指定されており、日連続雨量 150mm で通行止めとなる。  
平成 15~19 年度までの 5 年間で 7 回通行止めを実施している。
  - ④ 道路防災総点検による法面等の要対策箇所やカルテ管理箇所が多く存在し、豪雨に対して脆弱な地形である。平成 16 年と 18 年には、豪雨時に土砂崩落が発生し、それぞれ 2 日間に渡る通行止めとなった。
- ・ 近隣の観光名所である養老溪谷の観光入込み数は、近年、増加しており、年間約 9.5 万人が訪れている。
- ・ 評価対象区間は、トンネル (3 箇所) や橋梁 (2 橋) など構造物が多く、設計 V E や新技術の活用によるコスト削減を検討しながら早期整備に努める。

【対応方針 (案)】

継続

筒森バイパスは、異常気象時における地域住民の安全・安心な生活環境を確保するとともに、地域の観光振興への寄与が期待されている道路である。

供用区間については、安全・安心な通行が確保されているが、ネットワークとしての信頼性を確保するには、評価対象区間の整備が不可欠である。

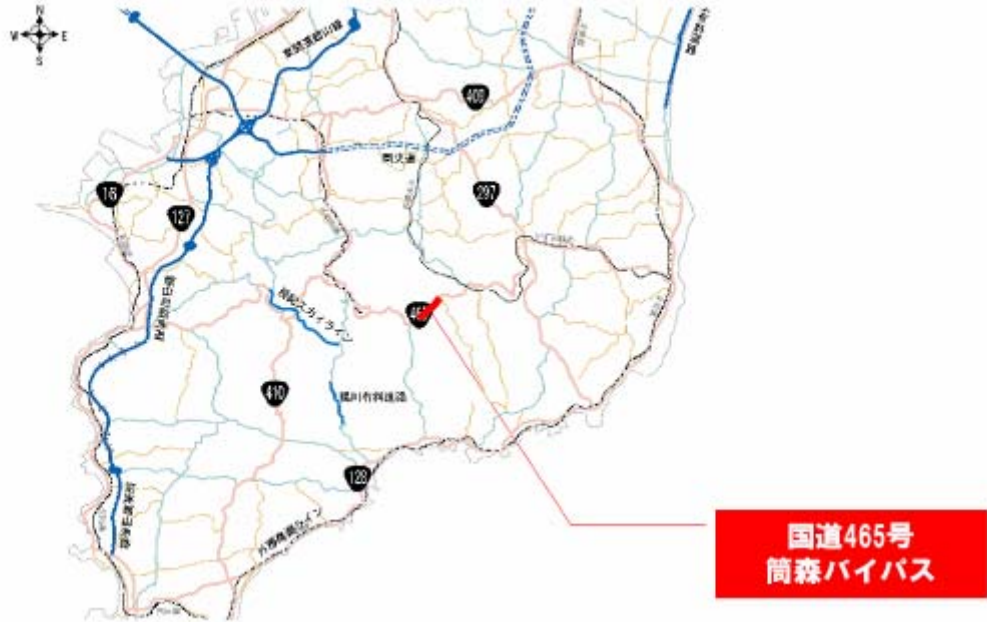
また、観光の視点では、内房地域からのアクセスが強化されることとなり、利用促進や観光シーズンにおける渋滞緩和への寄与が考えられる。

評価対象区間の用地取得率は 9 割を超えており、早期供用に向けて継続して事業を推進する。

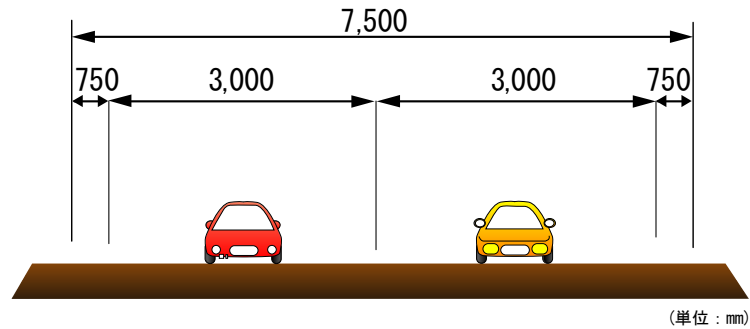
事業概要図

番号	6	事業名	国道 道路改築事業	路線又は箇所名等	国道 465 号 筒森バイパス
----	---	-----	--------------	----------	--------------------

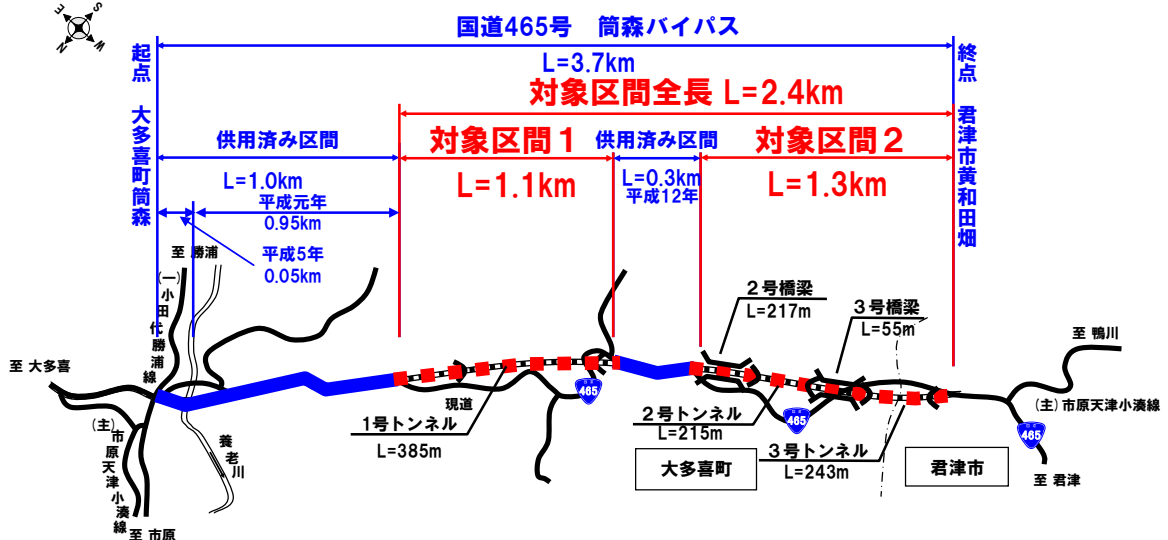
位置図



標準断面図



平面図



【別紙様式 5】

## 再々評価事業に関する調書

番 号	6	事 業 名	国道道路改築事業	路線又は箇所名等	国道 465 号 筒森バイパス
事業化年度	昭和 54 年度	用地着手年度	昭和 54 年度	工事着手年度	昭和 54 年度

## 【再評価の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成 15 年度	供用開始年度	平成 22 年度	対応方針	継続
B/C	1.5	総費用	57 億円	総便益	83 億円

再評価時の委員会の意見 及び当時の状況  
継続することが妥当である。

## 再評価時の進捗状況及び再評価時想定の 5 年後の進捗状況

	計 画	進捗状況 (H15)	5 年後の想定進捗状況 (H20)
全体事業費	84.3 億円	35.1%	—
用地取得面積	30,080 m <sup>2</sup>	100.0%	100.0%
供用面積 (延長)	3.7km	1.3km	1.3km

## 【再々評価の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成 20 年	供用開始年度	平成 30 年度	対応方針	継続
B/C	1.5	総費用	56 億円	総便益	84 億円

## 現在の進捗状況

	計 画	進捗状況
全体事業費	77.4 億円	39.8%
用地取得面積	34,700 m <sup>2</sup>	91.1%
供用面積 (延長)	3.7km	1.3km

再評価後の経過及び処理状況

- ・平成 15 年 再評価 (継続が妥当である)
  - ・平成 17 年度 筒森 1 号トンネルで設計 V E の実施 (道路規格及び設計速度の変更、幅員の縮小)
  - ・平成 20 年度末 2.4km が未供用
- 【再評価時との相違点】
- ・用地取得の難航から供用開始年度が遅延
  - ・設計 V E 等によるコスト縮減で全体事業費が減少